



# 東海村立保育所・幼稚園・こども園の先生による「家読(うちどく)おすすめ本」

年齢別(令和5年度版)

令和6年3月作成・東海村立図書館編



## 【0～2歳児向け】

	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号
1	ねないこだれだ	せな けいこ/作・絵	福音館書店	「とけいかなりますボンボン」に合わせて子どもと一緒に声を出しながら楽しむことができる絵本です。おばけと夜という、少し怖いテーマですが、子ども達が何度も繰り返し「読んで」と持ってくる魅力的な絵本です。	Eベビー イヤ
2	だるまさんが	かがくい ひろし/作	ブロンズ新社	「だるまさんが」のリズムに合わせて、体を動かす子ども達。だるまさんと一緒に、どてっと転んでみたり、ピロンと伸びてみたりする子ども達の姿がかわいいのでおすすめです。	Eベビー カガ
3	だるまさんの	かがくい ひろし/作	ブロンズ新社	だるまさんシリーズのひとつです。0歳児が「だるまさんの」のリズムに乗りやすく、体の名前が出てくる話なので、体の名前を覚えることもできたり、大人とのスキンシップも取れたりする絵本です。シリーズで読んでも楽しいです!	Eベビー カガ
4	はんぶんこ (こどものとも0.1.2.)	杜 今日子/作	福音館書店	子どもたちにとっても比較的身近な食べ物で、はんぶんこにして一緒に食べようというやり取りを楽しみ、本当においしいそうなイラストに子どもたちも夢中になります。	Eベビー コード
5	ひよこさん (こどものとも0.1.2.)	征矢 清/作 林 明子/絵	福音館書店	ひよこのふわふわした羽毛について触れてみたいくなります。文章もほっこりしていて、読んでいるとほんわかあったかい気持ちになります。0・1・2歳児向けですが、時には年齢問わず読み聞かせたくなる絵本です。ぜひ、裏表紙まで見てほしいです。	Eベビー コード
6	ぱんちんぱん (こどものとも0.1.2.)	柿木原 政広/作	福音館書店	「ぱんぱん しょくぱん ぱんちんぱん」と、楽しいリズムで、子どもたちの大好きなパンがたくさんでてきます。読み終えたあとも、つついっろずさんでしまう絵本です。	Eベビー コード
7	もっというろばあ	新井 洋行/作	えほんの社	絵の具から様々な色が出てくる絵本です。色に興味が出てきた1,2歳児の子どもたちは「ピンク」「みどり」「あお」とページをめくる度につぶやいています。また、色によってクマやヘビなどに形が変わるのもこの絵本の魅力です。読み手と聞き手が一緒に楽しめます。他にも2冊のシリーズが出ているのでぜひ読んでみてください。	Eベビー モツ
8	おおきなかぶ	A・トルストイ/再話 内田 莉莎子/訳 佐藤 忠良/画	福音館書店	「うんとこしょ、どっこいしょ」「まだまだかぶはぬけません」の繰り返し楽しい絵本です。子どもたちもこの絵本の繰り返しを生活の中で使いはじめ、「OOちゃん手伝って」「うん、いいよ」と友達とのやりとりを楽しむようになります。一人ではできないことも、みんなで協力すればできることもある!というメッセージを学べる絵本でもあります。	Eオ
9	おしくら・まんじゅう	かがくい ひろし/作	ブロンズ新社	紅白まんじゅうがおしくらまんじゅうをするお話です。子どもがのりやすいリズムで一緒に言葉を楽しみながら見ることが出来ます。様々な登場人物がでてきて次の展開も楽しむことができます。子どもに大人気の絵本です。	Eオ
10	おばけのやだもん	ひらの ゆきこ/作・絵	教育画劇	2歳児特有のイヤイヤ期をテーマにした絵本です。絵本に出てくるお化けのやだもんが、次はどんなやだやだしている子を見つけにいくなかな!と子どもたちも楽しんで見ることが出来る一冊です!	Eオ
11	しろくまちゃんの ほっと けーき	わかやま けん/絵 森 比左志/文 わだ よしおみ/文	こぐま社	「ぼたあん、どろどろ」と擬音語でホットケーキを焼く様子が、ホットケーキが焼けるのを待つ子どもたちの気持ちと重なります。ぜひおうちで読んで、お子さんと一緒に「ぼたあん」と言いながらホットケーキを作ってみてください♪	Eシ
12	しろくまのパンツ	tupera tupera/作	ブロンズ新社	ユニークなパンツがいろいろ出てきて、めくるたびに笑いがおきる1冊です。パンツの形が穴あきの仕掛けになっており、ページをめくると驚きのパンツの持ち主が表れます。ドキドキ・ワクワクしながら、みんなでワイワイ楽しく読み進めることができる絵本です。	Eシカケ シロ
13	かぜビューン	tupera tupera/作	学研	たんぼぼやソフトクリーム、風がビューンとふいたらどうなる?どうなるかは風が吹いてからのお楽しみ!あてっこ遊びも楽しい仕掛け絵本です。色々なキャラクターがでてきたり、意外なものもあつたりと子どもたちは大喜び間違いなし!	Eシカケ プチ
14	もけらもけら	山下 洋輔/作 元永 定正/絵	福音館書店	不思議な絵と音の絵本。はじめは「なんだろうこれ?」と思うかも知れませんが、作者がジャズピアニストの方ということ踏まえて文字を声に出してください。不思議だと思っていた音がおしゃれなリズムに聞こえてくる、そんな絵本です。	Eモ
15	わにわにのおふろ	小風 さち/文 山口 マオ/絵	福音館書店	独得な雰囲気を楽しめるわにわにシリーズの中の一冊です。わにわにのお風呂は言葉の響きを楽しめたり、セリフを声に出す楽しさを感じたりできる内容となっています。言語獲得能力が目覚ましく発達するといわれる2～3歳児におすすめの1冊です。	Eワ
16	わにわにのごちそう	小風 さち/文 山口 マオ/絵	福音館書店	わにわにが台所にやってきて豪快に食べ物を食べるお話です。わにの一つ一つの表情をじっくりと見ている子ども達です。「ずりずりずり」という所では、子ども達が目を丸くして息を飲んでいる様子がわかります。	Eワ



【年少向け】

	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号
1	えんそくバス	中川 ひろたか/文 村上 康成/絵	童心社	大好きな遠足を心待ちにする子ども達への絵本です。バスにのる場面では、カーブで一緒に体が動いてしまうはず!美味しいお弁当をみんなで食べる場面も見どころです。遠足前、家族のお出かけ前にいかがでしょうか。	Eエ
2	おおきなかぶ	A・トルストイ/再話 内田 莉莎子/訳 佐藤 忠良/画	福音館書店	大きなかぶを抜くのにどんどん協力する仲間が増えるという単純明快なストーリーで分かりやすい。そして子どもは繰り返すことが大好きです。いつ抜けるのか絵本の中に入り込みドキドキワクワクしている表情が見られます。読後感心地よくもう一度読んでとなるお話です。	Eオ
3	おばけのてんぷら	せな けいこ/作・絵	ポプラ社	うさこの天ぷらをおばけがつまみ食いするお話、コソコソ食べるお化けをみて楽しめる絵本になっています。オチも何度も読むと意味が分かってきて繰り返し読んで楽しい絵本です。	Eオ
4	とけいのほん	まつい のりこ/作	福音館書店	ちび(短針)とのっぼ(長針)が散歩にでかけたら、どんぐりぼうやがとおせんぼ。どんぐりぼうやは、今何時か教えてくれたら通してくれると言います。ちびとのっぼは、協力してどんぐりぼうやに時間を教えます。「長い針が7のところにきたら、おでかけ準備をしようね」そんなやりとりから、子どもたちが時間を意識しはじめるころにぴったりの絵本です。楽しみながら、ちょうどの時間と半(30分)の時間がわかるようになりますよ。	Eカズ ヨウ
5	しゃっくりがいこつ	マージェリー・カイラー/ 作 S.D.シンドラー/絵 黒宮 純子/訳	セーラー出版	しゃっくりを止めるためにはどうする?しゃっくりが止まらないガイコツさんは、いろいろな方法を試してみますがなかなか止まりません…。思わず笑ってしまうツッコミどころ満載の絵本になっています。何回「ヒック」としゃっくりが出たのか数えてみても面白いですね。	Eシ
6	じゃない!	チョー ヒカル/作	フレーベル館	いつも見ているトマトをきってみると「トマトじゃない!」次はどんな「じゃない!」が待っているのか子どもも大人もドキドキ・ワクワクしながら見ることが出来ます。最後までびっくりさせてくれる絵本です。ぜひ最後の作者紹介まで読んでみてください。	Eジ
7	しろくまのパンツ	tupera tupera/作	ブロンズ新社	パンツをなくして困っているしろくまさん。そこへ、心配したねずみさんがやってきて、一緒にパンツを探しに行くことに…。パンツの形が穴あきになっていて、めくるたびに楽しさが増していく絵本です。ラストには、大人も子どももあっと驚くこと間違いなしです!	Eシカケ シロ
8	たんぼぼ	甲斐 信枝/作・絵	金の星社	春になるとよく見かける身近なたんぼぼのつぼみから花が咲き、綿毛になって飛んでいくまでを表した一冊です。最後の綿毛が飛んでいくシーンの絵は感動します!絵だけどまるで本物に感じる事が出来る一冊です。	E ショクブツ エホ
9	ちょっとだけ	瀧村 有子/作 鈴木 永子/絵	福音館書店	この絵本は、赤ちゃんが生まれてお姉ちゃんになった子のお話です。今までお母さんに手伝ってもらっていたことを1人で頑張る、ちょっとずつ成功させていきます。お姉ちゃんだから我慢しなければという気持ちと甘えたい気持ちが描かれていて、感動します。3歳児だと下の子が生まれる子もいると思うので、「甘えてもいいよ」のメッセージにもなりそうです。	Eチ
10	「ねこのピート」シリーズ	エリック・リトウィン/作 キムバリー・ディーン作 ジェームス・ディーン絵 大友 剛/訳 長谷川 義文/文字画	ひさかたチャイルド	声に出してみるととっても楽しいリズムがあったり、繰り返しの掛け合いがあったりしてとても面白い絵本です。同じセリフの繰り返しなのですぐに楽しめます。ピートと一緒にうたいたいくなること間違いなしの絵本です。たくさんシリーズがあるのでぜひお気に入りの1冊をみつけてみてくださいね。	Eネ /他
11	ぱんどろぼう	柴田 ケイコ/作	KADOKAWA	まちのパンやから サササッと とびだす ひとつのかげ。パンが パンをかついで にげていきます。「おれは パんどろぼう。おいしいパンを さがしとめる おおどろぼうさ」パンに包まれた、その正体とは――!?お茶目で憎めないパンどろぼうが、今日も事件をまきおこす!	Eパ
12	「へんしんトンネル」シリーズ	あきやま ただし/作・絵	金の星社	言葉遊びを楽しむ一冊。じっと見てもよし、子ども達参加してもよしの絵本です。魅力あるキャラクターが名前を連呼していたらいきなり変身して、リアクションを楽しんでいます。様々なシリーズが出版されていて今日はこれにしようかな?と読んでもらうのが楽しみなお話です。	Eへ 他
13	ぼくはおとうさん	いもと ようこ/作・絵	金の星社	この絵本は猫の家族の話です。子猫は大人を羨ましく思い、父猫に「おとうさんっていいな」と話しかけた所から、お互いの生活を交換することになりました。始めは楽しく過ごしていた子猫も、母猫に仕事を頼まれる半面で、父猫が昼寝をしている姿を見て思うことがあったようです。子供らしい姿が描かれていて、大人に憧れを持つ頃にぴったりの絵本です。	Eポ
14	もうぬげない	ヨシタケ シンスケ/作	ブロンズ新社	服が脱げなくなった子の気持ちを描いた作品。子どもの発想が面白く、ついつい笑ってしまいます。無事、服を脱ぐことができるのか、読んでみてください!	Eモ
15	モジャキのくすり	平田 明子/文 高畑 純/絵	ほるぷ出版	大きな森の中に住んでいるゴリラ、その名もモジャキ!モジャキの楽しみは、こっそりハナクソを食べること!ところがある日、ハナクソを食べているところを見られてしまって…モジャキの小さな嘘からはじまる絵本です!	Eモ
16	せまいい (こどものとも年少版)	佐々木 一澄/作	福音館書店	子どもってせまいところが大好き!そんな子ども達の心をグッとつかんでくれる絵本です。段ボールの中、イスの下…とにかく狭いところを探すお話。読み終わった後は、必ず身近にあるせまい場所を見つけに行くに違いありません!繰り返しを楽しみながら一緒に読んでみてください。	Z



【年中向け】

	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号
1	あめふり	さとう わきこ/作・絵	福音館書店	ばばあちゃんシリーズの絵本です。毎日雨ばかり降り続くので怒ったばばあちゃんが雲の上のかみなりさまに挑むお話です。沢山のかみなりの細かい描写に子ども達が集中してお話を見ている。雨が続く日にこの絵本を読むと楽しい気持ちになれる1冊です。	Eア
2	いいからいいから	長谷川 義史/作	絵本館	数々と巻き起こるハプニングに、「いいからいいから」と満面の笑みのおじいちゃん。どんなことも満面の笑みでそう言われたら、なんだか本当に「いい」気がしてきます。「いいからいいから」と家族で声を合わせて読んでみると思わず笑ってしまう、楽しい絵本です。	Eイ
3	いちにちなぞのいきもの	ふくべ あきひろ/作 かわしま ななえ/絵	PHP研究所	「なぞのいきものってほんとうのいるのかなよし、1日なぞのいきものになってしょうたいをさぐってみよう!」と主人公の男の子がいちにちなぞのいきものになってみるというユーモア満載のお話です。他にもいちにちシリーズはたくさんあり、どの話も子どもの豊かな想像力をかなり刺激してくれますので、ぜひ読んでみてください。	Eイ
4	おまえうまそうだな	宮西 達也/作・絵	ポプラ社	暴れん坊のティラノサウルスが草食恐竜の赤ちゃんに出会い、最初は食べようとしていたけれど一緒に生活していくうちに今まで感じた事のない気持ちが…優しい、強いとはなんなのか。気持ちについて考えるきっかけにもなると思います。少し寂しい、だけど心温まるとても素敵な絵本です。	Eオ
5	からすのパンやさん	かこ さとし/作・絵	偕成社	シリーズ化している面白い絵本です。色々なデザインのパンが出てきてとても可愛いです。主人公がカラスなのも面白いと思います。文章は長いですが、言葉のリズムが聞き取りやすいため最後まで飽きずに楽しめます。	Eカ
6	キャベツくん	長 新太/文・絵	文研出版	キャベツが食べたいブタヤマさんと、そんなブタヤマさんを驚かせ続けるキャベツくん。「ブキャ!」とブタヤマさんが驚くたびに不思議な世界感の虜になっていきます。そして笑顔もこぼれます。家族で不思議な世界の中の非日常的な笑いを存分に楽しんでください。	Eキ
7	10びきのかえる	間所 ひさこ/作 仲川 道子/絵	PHP研究所	10びきのおたまじゃくしはいたずらぼうずにつかまって、四角いコンクリートの池に入れられました。10びきのおたまじゃくしが、とうとう10びきのかえるになりました。やっと自由に動けるようになった10びきのかえるは、生まれ故郷のひょうたんぬまに帰ることにしましたが、初めて水の外に出たので、ひょうたんぬまの場所がわかりません……。かたつむりさんやちょうちょうさんに道を聞いて、ぴよん、ぴよん、ぴよん! やつとの思いで、小川の岸につくと、はしゃぎがえるがぼっとして、流れに飛び込みました。すると、そこには、大きなさみのざりがにが……。!?	Eジ
8	そらの100かいだてのいえ	いわい としお/作	偕成社	100かいだてのいえは1階から100階まで、10階ごとに違う生き物が住んでいるユニークなお家です。読んでみると、まるで一緒に1階ずつ上っていっているような気分になり、想像力が膨らむ絵本です。	Eソ
9	ともだちや	内田 麟太郎/作 降矢 なな/絵	偕成社	友達とのかかわりで葛藤のある年齢のお子さんにとって、絵本を通して友達の大切さや人とのつながりを学べる絵本です。4歳には難しいかも…と、思うかも知れませんが年齢によって感じ方が違うため、長く楽しんでほしいです	Eト
10	ぬまの100かいだてのいえ	いわい としお/作	偕成社	大人気の100階建てシリーズ第6弾。今回の舞台は「ぬま」。次はどんな生き物がいるのかドキドキワクワクの1冊です。	Eヌ
11	バムとケロのおかいもの	島田 ゆか/作・絵	文溪堂	今日は月に一度の買い物の日。バムとケロちゃんと友達のかいちゃん3匹でお出かけ。市場でのお買い物を楽しむケロちゃんがとても可愛い1冊です。	Eバ
12	「100かいだてのいえ」シリーズ	いわい としお/作	偕成社	主人公が100かいだてのいえを進みながら自身の問題を解決していく物語です。100かいだてのいえと一緒に数えながら、家の中の変化や発見を楽しむことができます。シリーズで出版されているので、その日の気分で選べることもGOOD!	Eヒ
13	「へんしんトンネル」シリーズ	あきやま ただし/作・絵	金の星社	このシリーズの本は、クラスの子供達から何度も「読んで!」とリクエストがあります。言葉の変化がイラスト付きで楽しめるところが人気の秘密のようです。季節に合わせた内容のシリーズも出版されているので、年間を通して楽しむことができます。	Eへ 他
14	まゆとかっぱ	富安 陽子/文 降矢 なな/絵	福音館書店	主人公は山姥の娘のまゆです。まゆはかっぱと出会い、相撲をする事に!まゆの相手はまゆよりも大きなでっか丸です。はっけよーい…とページを捲る時、子どもたちにもちょっと緊張が走ります。負けそうになりながらも大きなでっか丸を投げ飛ばし時は拍手喝采!いつも夢中になって子どもたちも見ています。どんな子でもきっかけがあれば仲良くなれる。そんなことに気が付ける楽しくも優しい絵本です。	Eマ
15	わんぱくだんのたからじま	ゆきの ゆみこ/作 末崎 茂樹/絵 上野 与志/作	ひさかたチャイルド	砂場で海賊ごっこをしていたわんぱくだんが、本当の海賊になって海を渡り、怪獣と戦ったり宝島で宝探しをしたりして大冒険をするお話です。色々なシリーズがあります。	Eフ
16	おおきなおおきなおいも	赤羽 末吉/作・絵	福音館書店	楽しみにしていたもほり遠足の日、雨が降って延期になってしまいました。残念がる子どもたちは大きな紙においもを描きはじめます。紙をつなげてつなげて、おいもの絵はどんどん大きくなります。大きなおいもは、ヘリコプターで幼稚園に運びます。プールに浮かべて船にしたり、かいじゅうにみたてて遊びます。たくさん遊んだあとは、天ぷら、焼きいも、大学いも、たくさん作っておいもパーティ! 大きなおいもをめぐる子どもたちの空想がつまった絵本です。	Fアカバ



【年長向け】

	書名	作者	出版社	本の紹介	請求記号
1	おこだてませんように	くすのき しげのり/作 石井 聖岳/絵	小学館	絵本の主人公は、いつも怒られてしまう男の子。その子の行動の意味や発言を、大人の勝手な推測で決めつけてしまい、その子の本当の気持ちに気付かずいます。この話を読むたびに「いい子」とは一体何なのだろうと立ち止まって考えさせられる絵本です。その子の気持ちはその子にしかわからない。そんな子どもの気持ちに温かく寄り添いたいと改めて考えさせられます。	Eオ
2	おまえうまそうだな	宮西 達也/作・絵	ポプラ社	肉食のティラノサウルスと草食のマイラサウラの子どもが会う話。マイラサウラを仕方なく育てることになったティラノサウルスがだんだん自分の子どものように大切に育てていきます。最後の別れのシーンでは涙が止まらなくなりました。ぜひ家族で共有してみてください。同著本『あなたをずっとあいしている』もおすすめです。	Eオ
3	カラーモンスターきもちのきゅうきゅうばこ	アナ・レナス/作 おおとも たけし/訳	永岡書店	いやなことを「いやだ」と言えなかった時、わからないけどもやもやした気持ちの時ありませんか？自分の気持ちとどのように向き合えばわからなくなってしまったそんな時には、気持ちの専門家その名もカラーモンスターに相談してみましょう。心の中のいろいろな気持ちを色にして整理をしたり、明るい気持ちになるためのたくさんの方を教えてくれたりと、心がぼかぼかする一冊です。	Eカ
4	かいとうあつというま	塚本 ユージ(祐彩)/著	フジテレビKIDS	毎日幼稚園に来ては帰る時間になると「もうかえるじかんの～」と愚痴をこぼす子どもたち。そんな時にこの絵本を読むと今までの「疑問」が、「犯人」が判明し「こういうことだったのか」と目をキラキラさせていました。現実の疑問とファンタジックなストーリーが組み合わせり愉快的な空気が生まれる絵本です。	Eカ
5	じごくのそうべえ	田島 征彦/作	童心社	そうべえ達が地獄に連れてかれ地獄はどんなところなのかな？と想像力を膨らませながら読んでいます。地獄で鬼に食べられたそうべえ達が鬼のお腹の中で暴れるシーンは大人も子どもも大笑いしてしまう程です。	Eジ
6	ダンプえんちようやつけた	ふるた たるひ/作 たばた せいいち/画	童心社	ある保育園のお話で、読み進めていくといつの間にか絵本のストーリーの中に吸い込まれていくかのような感情移入しやすい良作です。豪快な園長に立ち向かって勇気をふりしぼる子どもたちの手に汗握る攻防はエンディングで爽快な気持ちに変わります。  こんなにも自由に、こんなにもわんぱくに過ごす楽しさを感じる1冊。 その中で友達への思いやりや、友達と協力して成し遂げた達成感など、ワクワクなお話です。	Eダ
7	手ぶくろを買いに	新美 南吉/作 黒井 健/絵	偕成社	人間に怖い思いをさせられた狐の母親が自分の子を人里にお遣いに行かせる話。「なんでそんな怖い思いを子どもにさせるのだろう」と子狐の気持ちになってドキドキしながら見ていたことを思い返します。自分が親になった今、我が子が独り立ちする時はこのような思いなのだろうと胸が締め付けられました。	Eテ
8	てん	ピーター・レイノルズ/作 谷川 俊太郎/訳	あすなる書房	「苦手なことを強みに変えていく」そんなことができたなら嬉しいし自信になりますよね。 絵を描くのが大嫌いなワシテ。そのワシテが先生のかかわりによって、描くことが好きになり、自分を表現できるようになり、最後には…。子どもを受け止めることや信じる大切さを感じるこの一冊です！	Eテ
9	にじいろのさかな	マーカス・フィスター/作 谷川 俊太郎/訳	講談社	どんな素敵な物を持っているのかで幸せが決まるのではなく人に優しくしたり、嬉しい気持ちを共有したりすることで自分自身幸せを感じることができると教えてくれる作品です。自分の悩みを誰かに打ち明け、自分の大切な物をあげたことで世界が広がり、にじうおが幸せに気付いて良かったと思います。	Eニ
10	にん・にん・じんのにんじんじゃ	うえだ しげこ/文・絵	大日本図書	お調子者でなまけもののにんじんじゃが面白く任務に取り組むユーモア溢れる絵本です。ちょっとしたダジャレを真似して子どもたちも大盛り上がりです!!	Eニ
11	まゆとおに	富安 陽子/文 降矢 なな/絵	福音館書店	山姥の娘まゆは、ある日鬼に会います。鬼はまゆを煮て食べようとお湯を沸かしはじめます。まゆはそうとは知らず、薪の山を作ったり、かまどの石を積んだり、手伝います。その怪力に驚いた鬼も、鍋のお湯が沸くころには、もうすぐまゆを食べられるとにんまり。ところがお湯が沸くと、風呂を沸かしているとばかり思っているまゆは、「お先にどうぞ」と言うなり、鬼を鍋に放り込んでしまいます……。	Eマ
12	みえるとかみえないとか	作:ヨシタケシンスケ 相談:伊藤 亜紗	アリス館	みんなが感じている「当たり前」を見直すことや多様性をユーモラスに描いた絵本!一人一人「当たり前」は違うから、その違いを面白く感じたい!!今の時代、これからの時代に必要な考え方が詰まっています!!こういったことを考えるきっかけ作りとして読んでみてはいかがでしょうか。	Eミ
13	みんなともだち	中川 ひろたか/文 村上 康成/絵	童心社	卒園期の歌の歌詞をモチーフにした絵本です。絵とともに1年をふりかえって歌いながら読む姿が可愛いです!!何度でも、繰り返し楽しく読むことができます!!	Eミ
14	やまがみさまの きょうだいべんとう	大串 ゆうじ/作	偕成社	細かい部分まで楽しめる絵本です!1つ1つの具材の作り方にもクソツと笑えるところがあり、じっくりと見られます。最後のオチにびっくりぎょうてん!子どもたちが必ず笑ってしまう絵本となっています。	Eヤ
15	エルマーのぼうけん	ルス・スタイルス・ガネット/作 ルス・クリスマン・ガネット/絵 わたなべ しげお/訳	福音館書店	年取ったのらねこからどうぶつ島に囚われているりゅうの子どもの話を聞いたエルマーは、りゅうの子どもを助ける冒険の旅に出発します。どうぶつ島ではライオン、トラ、サイなど恐ろしい動物たちが待ちうけていました。エルマーは、知恵と勇気で出発前にリュックにつめた輪ゴムやチューイングガム、歯ブラシをつかって、次々と動物たちをやりこめていきます。エルマーはりゅうの子どもを助け出すことができるのでしょうか?	933 ガネツ